

プログル技術利用規約

本利用規約（以下「本規約」といいます。）には、特定非営利活動法人みんなのコード（以下「弊法人」といいます。）が提供するプログラミング学習教材「プログル技術」（以下「本サービス」といいます。）の提供条件及び弊法人とサービス利用団体（以下で定義します。）または本サービスを利用する全ての当事者（以下「利用者」といいます。）との間の権利義務関係が定められています。本サービスをご利用いただく際には、本規約をお読みいただき、本規約及び弊法人が定める本サービスに関する各種の規約・規定にご同意いただく必要があります。

第1条（適用）

- 本規約は、本サービスの提供条件及び本サービスの利用に関する弊法人とサービス利用団体または利用者との間の権利義務関係を定めることを目的とし、本サービスの利用に関わる一切の關係に適用されます。
- 弊法人が別途定める利用ルール、ガイドライン、マニュアル等につきましては、本規約の一部を構成します。
- 本規約の内容と、前項のガイドライン等その他との説明が異なる場合には、本規約の規定が優先して適用されます。
- 本ソフトウェアには、オープンソースライセンス下に置かれているソフトウェアまたはこれを改変したもの（以下「オープンソースソフトウェア」といいます。）が含まれる場合があります。オープンソースソフトウェアは、かかるオープンソースソフトウェアに適用されるライセンス（以下「オープンソースライセンス」といいます。）の条件に従ってライセンスが付与されます。本規約は、各オープンソースライセンスに基づく利用者の権利を制限するものではなく、それに代わる権利を付与するものでもありません。本規約と各オープンソースライセンスとで矛盾する内容が規定されている場合、矛盾する箇所に関し、該当するオープンソースライセンスの内容が優先して適用されます。

第2条（定義）

本規約において使用する以下の用語は、各々以下の通りとします。

- 「本サービス」とは、弊法人が開発・運営するプログラミング学習教材「プログル技術」（<https://middle.proguru.jp/>）をいいます。
- 「サービス利用団体」とは、「契約ID等」（本条で定義します。）の発行を申し込んだ利用者が所属する学校またはそれに準じる団体をいいます。
- 「利用契約」とは、弊法人とサービス利用団体の間で締結される、本サービスにかかわる契約をいいます。
- 「契約ID等」とは、本サービスを利用するために必要なサービス利用団体に対して発行する管理者用のID及びパスワードをいいます。
- 「利用者ID等」とは、本サービスを利用するための利用者用のID、パスワードをいいます。
- 「知的財産権」とは、著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、ドメイン、その他の知的財産権（それらの権利を取得し、またはそれらの権利につき登録等を出願する権利を含みません。）を意味します。

第3条（利用手続き）

- 本サービスは、弊法人と本規約に同意したサービス利用団体に提供され、サービス利用団体は当該サービス利用団体に所属する利用者に対して本サービスを利用させることが可能になります。
- サービス利用団体は、本規約の内容に同意した時点で、サービス利用団体と弊法人の間で本サービスについての利用契約を締結したものとし、弊法人はサービス利用団体に契約ID等を発行します。
- サービス利用団体は、本サービスを利用するにあたり、サービス利用団体の費用と責任においてコンピュータ等インターネットに接続する機器等の設置や設定等を行うものとします。

第4条（本サービス利用許諾）

- 本サービスの利用は、サービス利用団体に所属する利用者に限られます。
- サービス利用団体は、所属する利用者对本サービスを利用させるにあたって、サービス利用団体に所属する利用者に対し本規約を遵守させる責任を持つものとします。
- サービス利用団体に所属する利用者は、本サービスを本規約上の利用許諾条件でのみ使用することができます。また弊法人が認める場合を除き、本サービスより作成したデータを第三者に対して貸出、委託、譲渡、または販売したり、再使用权を許諾または移転したりすることはできません。

第5条（契約ID等・利用者ID等の発行と管理）

- 弊法人はサービス利用団体に対し、本サービスを利用するためのサービス利用団体固有の契約ID等を発行します。
- 弊法人は利用者が本サービスを使用するための利用者ID等を利用者が所属するサービス利用団体に対し、申請に基づいた数量分発行します。
- サービス利用団体は、契約ID等及び利用者ID等の管理及び使用について一切の責任を持つものとします。
 - サービス利用団体は、契約ID等及び利用者ID等が第三者に漏洩しないよう管理し、契約ID等もしくは利用者ID等を紛失したり盗用された場合、または、契約ID等もしくは利用者ID等が第三者に漏洩した場合には、速やかに当該契約ID等もしくは利用者ID等を無効化し、同時に弊法人に対し、その旨を連絡すること。
 - サービス利用団体は、利用者による利用者以外の第三者との間の利用者ID等の共同利用、または利用者による利用者以外の第三者への利用者ID等の利用の再許諾が行われないう管理すること。
 - 利用者が卒業や転校等でサービス利用団体に所属されなくなった場合、または利用者ID等を使用する必要がなくなった場合は、速やかに当該利用者が使用した利用者ID等のパスワードを書き換えるなど当該利用者ID等が不正利用されないよう必要な措置を行うものとします。
- 契約ID等または利用者ID等を第三者に開示または漏洩していることが疑われる場合、弊法人はサービス利用団体に調査を依頼することができ、サービス利用団体は直ちに弊法人の指示に基づき調査を行い、弊法人に報告するものとします。
- 利用者は、設定したパスワードを失念した場合は直ちに利用者が所属しているサービス利用団体に申し出るものとし、所属しているサービス利用団体の指示に従うものとします。
- 弊法人は、契約ID等または利用者ID等が第三者に使用されたことによってサービス利用団体または利用者が被った損害については、サービス利用団体または利用者の故意過失の有無にかかわらず一切責任を負いません。

- 公序良俗に反する行為
- 本サービスのネットワークまたはシステム等に過度な負荷をかける行為
- 本サービスの運営を妨害するおそれのある行為
- 弊法人のネットワークまたはシステム等に不正にアクセスし、または不正なアクセスを試みる行為
- 弊法人の承認なく本サービスに関連して営利を目的とする行為
- 反社会的勢力等への利益供与
- 行為が前各号のいずれかに該当することを知りつつ、その行為を助長する行為
- その他、弊法人が不適切と判断する行為

第10条（本サービスの停止等）

- 弊法人は、以下のいずれかに該当する場合には、事前に通知することなく、本サービスの全部または一部の提供を停止または中断することができます。
 - 本サービスに係るコンピューター・システムの点検または保守作業を行う場合
 - 通信回線、システム等が事故により停止した場合
 - 地震、落雷、火災、風水害、停電、天災地変などにより本サービスの運営ができなくなった場合
 - その他、弊法人が停止または中断を必要と判断した場合
- 弊法人は、本条に基づき弊法人が行った措置に基づきサービス利用団体または利用者に生じた損害について一切の責任を負いません。

第11条（権利帰属）

- 本サービスに関する一切の知的財産権は全て弊法人に帰属します。
- 弊法人は本サービスの利用に関するデータの情報を加工・販売することがあります。

第12条（本サービスの内容の変更、終了）

- 弊法人は、本サービスの内容を変更し、または提供を終了することができます。
-
- 弊法人は、本条に基づき弊法人が行った措置によりサービス利用団体または利用者に生じた損害について一切の責任を負いません。

第13条（免責）

- 弊法人は、本サービスの閲覧・利用によって直接的・間接的に生じた損害に対して、弊法人は一切の責任を負わないものとします。
- 弊法人は、本サービスの内容により発生あるいは誘発された損害、情報の利用により生じた事項、またはその情報自体の合法性や適正性等について、一切の責任を負わないものとします。
- 弊法人は、本サービス提供のための通信回線、システム等の障害等による電子メールの遅配、未配、本サイト上の誤表示及びそれ以外のいかなる原因に基づきサービス利用団体または利用者に生じた損害についても、賠償する義務を一切負わないものとします。
- 本サービスに掲載されている情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その内容の正確性及び安全性を保証するものではありません。
- 本サービスに掲載されている情報については、予告なしに変更または削除する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 弊法人は本規約にもとづき、合理的な範囲で各利用者ごとに本サービスの提供範囲の制限を、設定または変更することがあります。

第14条（本規約等の変更）

弊法人は、本規約を事前の予告や通知なく変更できるものとします。弊法人は、本規約を変更した場合には、弊法人所定の方法で当該変更内容を通知するものとします。

第15条（損害賠償）

- サービス利用団体または利用者が本サービスの利用によって他の利用者や第三者に対して損害を与えた場合、サービス利用団体または利用者は自己の責任と費用をもって解決しなければなりません。
- サービス利用団体または利用者が本規約に反した行為、または不正もしくは違法な行為によって弊法人に損害を与えた場合、弊法人は当該サービス利用団体または利用者に対して相応の損害賠償の請求を行なうことができるものとします。

第16条（秘密保持）

本サービス内において開示されている情報のうち、第三者への開示を禁止する旨の表示がされている情報については、第三者への開示または漏洩を禁止いたします。万が一第三者への開示または漏洩が確認された場合、利用者の在職・退職・在籍・退会にかかわらず弊法人に損害賠償をするものとします。

第17条（個人情報）

弊法人が本サービスの利用に際して収集した個人情報については、以下のWebページに記した弊社の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用します。

<https://storage.googleapis.com/proguru-secondary-production/privacy.pdf>

第18条（クラスチャットを利用する際のサービス利用団体の責任）

本サービスの中には、同一サービス利用団体に所属する利用者間でメッセージや画像を配信し合える機能（以下「クラスチャット」といいます。）があります。

- サービス利用団体は、サービス利用団体自身の自己責任においてクラスチャットを利用するものとし、クラスチャットを利用してなされた一切の行為及びその結果について一切の責任を負うものとします。
- サービス利用団体がクラスチャット内で行った行為により、迷惑を被ったまたは権利を侵害されたと主張する者が現れた場合は、サービス利用団体の自己の責任と費用において解決しなければならず、弊法人は一切の責任を負いません。
- サービス利用団体がクラスチャット内で他人の名誉を毀損した場合、プライバシー権を侵害した場合、著作権法に違反する行為を行った場合、その他他人の権利を侵害した場合は、サービス利用団体の自己の責任と費用において解決しなければならず、弊法人は一切の責任を負いません。
- サービス利用団体は、クラスチャットを利用したことに起因して（弊法人がかかる利用を原因とするクレームを第三者より受けた場合を含みます。）、弊法人が直接的もしくは間接的に何らかの損害（弁護士費用の負担を含みます。）を被った場合、弊法人の請求にしたがって直ちにこれを補償しなければなりません。

第19条（分離可能性）

本規約のいずれかの条項またはその一部が、消費者契約法その他の法令等により無効または執行不能と判断された場合であっても、本規約の残りの規定及び一部が無効または執行不能と判断された規定の残りの部分は、継続して完全に効力を有するものとします。

第20条（準拠法及び管轄裁判所）

- 本規約及び利用契約の準拠法は日本法とします。
- 本規約または利用契約に起因し、または関連する一切の紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

令和2年7月7日 制定